

第132回 日商1級 商業簿記

決算整理後残高試算表

採点欄

平成24年3月31日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	① 10,934	支払手形	7,000
受取手形	12,200	買掛金	① 3,580
売掛金	9,000	未払法人税等	① 16,000
繰越商品	① 58,500	未払費用	30
未収金	① 16,000	1年以内返済予定長期借入金	① 10,000
回収業務資産	① 3,600	貸倒引当金	① 880
前払費用	15	リース債務	① 7,545
金利スワップ資産	① 48	建物減価償却累計額	① 12,240
建物	72,000	備品減価償却累計額	① 14,000
備品	20,000	リース資産減価償却累計額	① 7,408
リース資産	18,520	資本金	150,000
土地	156,296	資本準備金	20,000
不渡手形	① 50	利益準備金	10,000
仕入	① 405,200	任意積立金	42,300
棚卸減耗損	① 4,200	繰越利益剰余金	① 7,429
商品評価損	① 4,500	繰延ヘッジ損益	① 48
貸倒引当金繰入	① 480	売上	594,060
減価償却費	① 15,864	受取利息	100
販売費・一般管理費	① 55,129	長期貸付金売却益	① 1,600
支払利息	① 744	貸倒引当金戻入	150
手形売却損	230		
保証債務損失	① 4,860		
法人税等	36,000		
	904,370		904,370

○印…予想配点

別解：貸倒引当金繰入 880、貸倒引当金戻入 550

第 132 回 日商 1 級 会計学

第 1 問

採 点 欄

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適当な語句	
1	○		①
2	b	正味売却価額	②
3	b	減耗償却	②
4	d	試用販売における買取意思表示基準	②

第 2 問

(1)		203,400,000 円	②
(2)		289,480,000 円	②
(3)		14,392,964 円	②
(4)		105,000,000 円	②
(5)		350,000,000 円	②
(6)	(借 または (貸))	54,888,000 円	①
(7)	((借) または 貸)	400,000 円	①

第 3 問

(負ののれんの定義)

負ののれんとは、取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分

された純額を下回る場合における差額

である。 ②

(負ののれんの会計処理)

負ののれんが生じた事業年度の利益

として処理される。 ②

(そのように会計処理する理由)

のれんは資産として計上されるべき要件を満たしているものの、負ののれんは

負債として計上されるべき要件を満たしていないという国際的な会計基準の考

え方を斟酌した結果である。

②

○印…予想配点

第 132 回 日商 1 級 工業簿記

採 点 欄

問題 1

問 1

中間生産物Aの原価標準		
③	1,800	円/kg

問 2

購入原料価格差異		
①	120,000	円
(有利 、 不利)		
いずれかを○で囲みなさい。		

問 3

原料配合差異		
②	60,000	円
(有利 、 不利)		
いずれかを○で囲みなさい。		

問 4

原料歩留差異		
②	180,000	円
(有利 、 不利)		
いずれかを○で囲みなさい。		

問 5

労働価格差異	労働能率差異	労働歩留差異
① 15,000 円	② 405,000 円	② 270,000 円
(有利 、 不利)	(有利 、 不利)	(有利 、 不利)

有利な差異の場合には有利に、不利な差異の場合には不利に○をつけなさい。

問 6

消費差異	能率差異	不働能力差異	歩留差異
① 240,000 円	② 270,000 円	① 50,000 円	② 180,000 円
(有利 、 不利)	(有利 、 不利)	(有利 、 不利)	(有利 、 不利)

有利な差異の場合には有利に、不利な差異の場合には不利に○をつけなさい。

問 7

第2工程完成品総合原価		
②	45,495,000	円

問題 2

①	オ	②	エ	③	カ	④	キ
①		①		①		①	

○印…予想配点

第132回 日商1級 原価計算

問題1

採 点 欄

600個分の注文を引き受けることは、引き受けない場合より、(60,000) 円

(有利 (不利)) 。

いずれかを○で囲みなさい。

金額、選択肢両方正解で⑤

問題2

製品Aの製造を減らして、製品Bを100個製造販売することは、製品Aのみを製造販売する

より、(10,000) 円 (有利) 不利) 。

いずれかを○で囲みなさい。

金額、選択肢両方正解で⑤

問題3

問1

③ 5,600,000 円

問2

③ 327,440 円

問3

(1)

③ 607,120 円

(2)

③ △2,296,880 円

(3)

(A案 B案) が有利。 ①

いずれかを○で囲みなさい。

A案とB案の正味現在価値の差は、次の式で求めることができる。

20,000,000 円 - 20,000,000 円 × ② 0.8548

○印…予想配点

(注意) 解答速報はTAC(株)が独自の見解に基づき、サービスとして情報をご提供するものです。本試験の結果等(合格基準点・可否)について保証するものではありません。なお、解答速報の内容につきましては予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。